

2018年4月6日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、米国のデジタルエージェンシー「M8社」の株式100%取得で合意
— 米国ヒスパニック市場およびラテンアメリカ市場における成長戦略を加速 —

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」※を通じて、米国のデジタルエージェンシー「Media 8, Inc.」（本社：マイアミ市、CEO：John Santiago、以下「M8社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2001年に設立されたM8社は、ヒスパニック向けのデジタルマーケティングで成長してきました。現在では、米国ヒスパニック市場およびラテンアメリカ市場において、戦略の策定からその実施に至るまでデジタルマーケティング領域全般のサービスを提供しています。サービスには、クリエイティブ、アプリケーション開発、データ管理・分析などが含まれます。

米国におけるヒスパニック市場は年々拡大しており、ラテンアメリカに事業展開する企業の多くは米国マイアミ市に地域統括拠点を構えています。M8社はマイアミ市に本社を構え、アルゼンチン第2の都市・コルドバ市にハブ拠点を設けて、米国ヒスパニック市場およびラテンアメリカ市場に向けて事業展開する米国企業と、ラテンアメリカに本拠地を置く企業に対してデジタルマーケティングサービスを提供しています。

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランド※の1つで、デジタルパフォーマンス・マーケティングに強みを持つ「iProspect」（アイプロスペクト、本拠地：英国ロンドン市）の、米国ヒスパニック市場およびラテンアメリカ市場における事業規模拡大とサービス機能強化にあります。今後当社は、M8社のブランド呼称を「M8, an iProspect Company」（M8・アン・アイプロスペクト・カンパニー）へと改称し、競争力の高いデジタルマーケティングサービスを提供することで、米国ヒスパニック市場およびラテンアメリカ市場における成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2018年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界140カ国・地域以上でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【M8 社の概要】

社 名 : Media 8, Inc. (M8 社)
本社所在地 : 米国フロリダ州・マイアミ市
(アルゼンチン・コルドバ市に営業拠点を持つ)
設 立 : 2001 年 11 月
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 730 万ドル (約 7.8 億円) (2017 年 12 月期)
代 表 者 : John Santiago (CEO)
従業員数 : 84 名
事業内容 : 戦略策定から実施までデジタルマーケティング領域全般のサービスを提供

以 上